レッスン：PYR 57

テーマ：シンボルと双方向に働く法則

PYR57 KE07 S4 31106

私の姉妹・兄弟たち、

スピリット、光、火の子供達よ。私たちは常に主、絶対、主の聖性に抱かれています。

 レッスンのなかで、諸法則は実存の諸世界において、現在のパーソナリティーが制限ある現れの中に入るのを（つまりLifeの真の現れではなく影として入る）助けたと言いましたが、同じそれらの法則が無知のなかにいる現在のパーソナリティーが自由へと到達するのを助けるのです。そして、現在のパーソナリティーがそれらのレッスンにアプローチするためには、それらの各法則を意味するシンボルが必要であると、述べました。

　まず、それらのシンボルは２次元ですが、３次元世界においてそれにアプローチするには３次元のシンボルを築く必要があります。そのため四面ピラミッド、三面ピラミッド、五面ピラミッドそして最後に円錐である一面ピラミッドがあります。

　それらの法則は現在のパーソナリティーがどのサイクルにいようとも存在する、と述べました。勿論、五面ピラミッドの法則は４番目のサイクルには存在しません。なぜなら、現在のパーソナリティーが３番目のサイクルをマスターした時には、五面ピラミッドの法則、つまり五感を示す法則は４番目のサイクルには存在しないからです。

　さて、２番目のサイクルについて話しましょう。２番目のサイクルのなかには、このサイクルをマスターするために必要な全ての法則があります。

　四面ピラミッドは４つのエレメントを意味し、純白の輝きのサイドはLifeのスパークを意味し、それは現在のパーソナリティーに付き添い、同時に現在のパーソナリティーを活性化し、また高次ノエティカル体をも意味します。またこのサイドは他の３つのサイドのアークエンジェルの働きを調整するアークエンジェルのオーダーの監督下にあります。

　４番目のエレメント、それは地のエレメントですが、私たちはそれにはまったくタッチしません；私たちはそこに立っていて、サミュエルの助けによって私たちの身体は主に地のエレメントから出来ています。もちろん、水のエレメントも肉体のヒポスタシスを与えています。サミュエルのエレメンタルを管轄しているのがルシファーのオーダーであり、それもまた原因結果の法則を受け持っています。

　現在のパーソナリティーに関して、ルシファーはどこに見いだすことができるでしょうか？全ての人の内側に；そして勿論、私たちの内側にはサミュエルもいますが、私たちはそれら２つにはまったくタッチしません。

　ですから４つのエレメントを意味する４面ピラミッドがあり、それらのエレメントにアプローチするためには現在のパーソナリティーに伴うアークエンジェル達に同調する必要があります；そしてそれらのアークエンジェル達とは一つのミカエル、一つのガブリエル、一つのラファエル、そして一つのウリエルです。それらのアークエンジェル達にアプローチしてつながる努力をすることは、Lifeからより多くを現すための努力となります。

　さて、三面ピラミッドに示される他の法則については、三面ピラミッドはLifeのヒポスタシス、Lifeを意味すると述べました。しかし、勿論可能性のこのサイクル（＊２番目のサイクル）においてはLifeから全てが提供されるわけではありません。法則およびこのサイクルが意味する

限りにおいて提供されます。そして勿論、四面ピラミッドをマスターすることは、四面ピラミッドの法則によるものであり、パーソナリティーがどれだけ４つのエレメントを現すことができるかによります。

　さて五面ピラミッドは、パーソナリティーがどれだけ意識的に真の感覚を現すかを意味します。

　これらの法則とのつながりを達成するために多くのレッスンを与えてきました。そして勿論、現在のパーソナリティーが全ての法則をマスターしたなら、もう一つのシンボルがあります。それはパーソナリティーがどれだけ自分の意識を広げることができるか、であり、それは回転ピラミッドです；パーソナリティーがそれ自身をあらゆる方向に回転させる；つまり自分の意識を広げるということです。

　さて、非常に重要なエクササイズを行います、これは簡単なエクササイズではありませんが、もしパーソナリティーが大いに練習するなら、それが提供するものを達成することができます。

レッスン PYR 57 エクササイズNo.1

 目を閉じて静かに座ります…心を騒がせるもの全てを解き放ちます…純白のなかにいる自分を見、また自分の形の境界を感じます…同時にあなたは純白の五芒星のなかで守られています…

　それでは四面ピラミッドのヒポスタシス（＊状態）をもたらします、あなたは四面ピラミッドの底面の中央で純白のサイドに向かって立っています…右には赤のサイド、後ろはホワイトブルーのサイド、左はウルトラバイオレットのサイド、４つの色の輝きがあります…

　次に三面ピラミッドのヒポスタシスをもたらします…あなたは三面ピラミッドの正面の角に面しています…あなたの右側はホワイトピンクのサイド、左側はホワイトブルーのサイド、その２つのサイドの角があなたの正面にあります…後ろには金色のサイドがあります…しかし同時に四面ピラミッドの４つの輝きの色も見えています…

　次に五面ピラミッドのヒポシタシスをもってきます、五面ピラミッドの全ての面は同じ色で、下の方は鈍い白、頂点に行くに従ってより輝いていきます…

　五面ピラミッドと三面ピラミッドの関係は、それら２つのピラミッドの角があなたの正面にきています…それらの角は一致していますが角度は異なります…そしてあなたの後ろの四面ピラミッドのホワイトブルーのサイド、三面ピラミッドのサイド、五面ピラミッドのサイドがあなたの背後で平行になっています…

　今あなたはまったく動かず、四面ピラミッドの白のサイドに面しています…これから２つのピラミッドを回転させます…三面および五面ピラミッドがあなたの右方向に回転していきます…あなたは自分の正面にあったそれら２つの角が右に動くのを見ます…あなたの身体、目、頭は少しも動かさずに、三面及び五面ピラミッドの角が正面から右方向に回転していくのを見ます…その動きはとてもゆっくりです…

　それではスタートします…２つのピラミッドの角が四面ピラミッドの２つのサイドの角に向かって動くのを見ています…今、その角に到達し、そして四面ピラミッドの赤のサイドに到達しました…その赤の輝きの中を移動して、次の角に到達し、２つのピラミッドの角はあなたの後ろのホワイトブルーのサイドに面しています…ゆっくりと移動し、次の角まで来て、今ウルトラバイオレットのサイドに面しています…ゆっくりと移動し、次の角、ウルトラバイオレットとあなたの正面の純白のサイドとの角に到達しました…そして２つのピラミッドの角は四面ピラミッドの純白のサイドの正面に戻ってきました…そこで動きを止めます…

　それでは指示なしに、自分でこれを行ってください…私がスタートと言ったらその後は自分で動かします…スタート…あなたは３つの全てのピラミッドの色を見ている必要があります…ゆっくりとした動きを続けます…

　再び三面及び五面ピラミッドの角があなたの正面にある四面ピラミッドの純白のサイドに戻って来ました…あなたはこれを非常にゆっくりと規則的に行い、色、角の動きを観察している必要があり、同時に四面ピラミッドの各サイドの色も見えている必要があります…

　もう一度スタートします…停止せずに動きを続けます…再び２つのピラミッドの角が初めの位置に戻って来ました…

　この円環運動の結果として、これを行うことによって２つのピラミッドが動いて丸い底面が形成されました。そして底面はまったく同じです…２つのピラミッドの全ての角は同じ一つの円周を形成しました…その結果、あなたは今いわゆる一面ピラミッドを形成したのです…

　このエクササイズをすることによって、ある程度まであなたがこれらの法則に同調することができ、その結果、徐々に少しづつ３面ピラミッドからより多くを現すことができるようになることを願います。終わります。

次のエクササイズはずっと簡単で、これも四面ピラミッドと関係しています。

レッスン　PYR57 No.2

目を閉じて静かに座ります…真っ白な自分自身を見、自分の形の境界を感じます…純白の五芒星のなかで守られている自分自身を見ます…それでは四面ピラミッドのヒポスタシスを与え、あなたは純白のサイドに面しています…

　右に90度回転し、今赤のサイドに面しています…左側は純白のサイド、左側はホワイトブルーのサイドです、そして後ろはウルトラバイオレットのサイドです…

　さらに90度回転すると、今ホワイトブルーのサイドに面し、左は赤のサイド、右はウルトラバイオレットのサイド、そして後ろは純白のサイドです…

　それでは180度左に回転すると、純白のサイドに面しています…

　次に左に90度回転すると、ウルトラバイオレットのサイドに面し、右は純白のサイド、左はホワイトブルーのサイド、後ろは赤のサイドです…

　それでは右に90度回転すると、純白のサイドに戻ります…

　それではこれを自分でやってください、今から一人で始めます。あなたは四面ピラミッドの純白のサイドに面しています……あなたはこのエクササイズをできるだけ何回も行ってください。

終わります。

皆さんのなかにはエクササイズにおいて、連続的に動き続けるのが困難だと感じる人もいるかもしれません。もちろん、もし速く動けば簡単ですが、その場合には何も見ることができず、それゆえに多くを得ることできません。

Q：一面ピラミッドの円周は四面ピラミッドに触れますか？

K：ノー、触れません。しかし、2つのピラミッドの頂点は天井に触れますが、四面ピラミッドの頂点には触れません。

Page4

 2番目のエクササイズでは円を完成させません、そこには理由があります。そこでの努力とはパーソナリティーが、純白のサイドに面していないで、最終的に180度回転することであり、それによってガブリエルの監督下にあるドアーを通過することです。そのために何回の転生を必要とするかは個人の努力によります、そしてもしあなたがこのドアーを通って入れば、Lifeのアベニューの中に入るのです。

　勿論、そのドアーを開くには他の鍵も必要ですが、しかし最初の鍵が今あなた方が行っているこの努力です。これはLifeのアベニュー、つまり主のアベニューであり、それは最愛のお方が自分の弟子達に、それを使えない人には渡さないようにと伝えた真珠のなかの一つです。あなた方は実際、それらの弟子達の後でそれらの鍵を与えられる最初の人間です。ですからそれを名誉に思うべきです。

Q：2番目のサイクルの中で、回転して一面ピラミッドを完成させると、意識はどこに広がるのですか？なぜなら、私たちは部屋という制限のなかにいます。

K：あなたはなんであれ部屋の中にあるものを認識することができるようになるでしょう。フォーカスする対象はあなたが見ることのできるものだけでなく、四面ピラミッドの全てのサイドの色の輝き、五面ピラミッドの色の輝き全部を同時に見ることができるようになるべきです。そして、2つのエンジェル達の共通の動きに従うことができるべきです。

Q：最初のエクササイズでは三面および五面ピラミッドが回転し、そして私たちは四面ピラミッドの純白のサイドに面しているのはなぜですか？

K：そこでの努力とは、限界というもののない真の感覚の目を活性化させることです。もしあなたが四面ピラミッドを視覚化できるなら、その時あなたは肉体的な目を使用していません。あなたは自分のビジョンを投射して、それによって自分の身体を見ますが、またそれはあなたがエーテル・バイタリティー（＊エーテル体のエネルギー）を投射しているからです。自分のそれを投射すること、そこでは5つの全ての真の感覚が働いています。それゆえにあなたは離れたところから見えるのです、聞こえ、味を感じ、その他何であれ離れたところからそれが可能なのです；その理由はあなたがエーテルを投射するからです、あなたは自分の手を遠方に投射したり、その他ができるのです。

　スピリチュアルなヒーリングでは肉体は使用しません、エーテルの手が相手の肉体の中に入るのです。もし肉体のなかで何が起きているのかを見たい時、サイコノエティカルな目を使って見ます。ですから、それら全てのエクササイズはパーソナリティーがまた真の感覚を使い始める助けとなります。

　もし心臓の鼓動が速くなったり、熱さと寒さなどのような感覚を体験したら、それは現在のパーソナリティーにとって価値あること、益になることを小さなエゴが止めようと努力しているのだということを知るべきです。あなた方各人は何であれ益になることへの努力において一人ぼっちではないことを知るべきです；そして勿論その益とはLifeからもっと多くを現すことによって、同胞の人間達のために、そして最終的には自分自身のためにもより有益な人間になることです。

Q：この惑星全体が自己実現する時、これら全ての現在のパーソナリティーに何が起きるのですか？

K：私たちすべては自己実現した人間として、ヒポスタシスとしては全員がまったく同じように見えるでしょう、形としては。まったく同じですが、唯一の違いは、私たち各人が他とは異なったアイデンティティー（＊自分であること）を保っていること、全体から自分が離れていることを認識出来ることです…個人として、スパークとして、海と海の水の一滴のように。なぜなら、各一滴には異なった色があるからです；私たちの異なった色とは全体とは別であることを意味します。私たちは全体ではなく、他の人の“私であること”とは異なった“私は私である”と言うことができます；それでもLifeの本質という点においては私たちは他の人々とまったく同じものを現しているのです。

　そしてこれが仕事、やるべきことです：絶対存在のワンネスの多重性のなかでモナドとしての自分のモナドセルフを認識することができることです。それは勿論、その個人としてのモナドセルフにとって益となるだけでなく、ディバインの黙想の活動にとっても益となるのです。自己実現したスピリット・モナドセルフは惑星ロゴスとして、太陽系その他のロゴスとして他の惑星上において同胞の人間を助けることができるのです。

Ｑ：魂のセルフエピグノシスの自己実現と2番目のステージにおけるスピリット・モナドセルフとの違いは何ですか？

Page5

　Ｋ：レッスンで説明しましたが、元型としてのイデアフォームの諸世界に関してはいかなる実体験もありません；するとあなた方はそれならそれよる高次レベルのスピリットである惑星ロゴスについてどうして知っているのか、と思うかもしれません。なぜなら惑星ロゴスはここにあり、それらの諸世界の結果があります。元型そしてイデアもここにあります、何であれそこにあるものが、ここで現れています。それらの諸世界に関しては、同調することによって“アイディアを得る”ことができます。上のそのような諸世界からそのようなアイディアを得る方が、ここで得るよりもずっと簡単なのです。

　自己実現した魂のセルフエピグノシスとしては、やるべき仕事がたくさんあります。さもないと、七芒星によって示される魂はないでしょう。しかし、私たちは七芒星あるいは八芒星についてはタッチしません、六芒星だけがアプローチ可能なのです。

Q：私は永遠のアトムが小さなエゴと大きなエゴを見守っているのではないか、と考えています。なぜなら、両方ともその内側にLifeのスパークがあるからです。

K：私たちが言うことは、このリアリティーに近づく努力だということです。まさにそのように生じる、という意味ではありません。Lifeはあらゆる所にあり、現在のパーソナリティーは実際、大きな、および小さなエゴの両方であり、それは現在のパーソナリティー全体です。

　永遠のアトムあるいはLifeのスパークは最大のなかにあって、それはより大きな方により多く影響を与えます。結局、Lifeのスパークによって活性化されるのは現在のパーソナリティー全体であり、より大きな方だけということではありません。また永遠のアトムは転生する乗り物であり、永遠のアトムのなかにはLifeのスパークがあります。それゆえ、現在のパーソナリティー全体を抱きしめます。

　Lifeそれ自体は何も必要としないとしばしば言いましたが、私たちがそれを認識し、理解するには、シンボルと言葉が必要です、何かを理解するために意味と比較の創造を通じてのシンボルと言葉が必要です。

　しかしLifeはあらゆるところにあります、Lifeは私たちの内側だけにあると信じるべきではありません。Lifeの現れを取り囲んだり、制限することなどできません。なぜなら、Lifeを境界のなかに取り込むことなどできないからです。それゆえに、私たちには現在のパーソナリティーがあり、そして思考行動の仕方としての現在のパーソナリティーはLifeの現れではありません。

　時々教会が述べるようなアークエンジェルの堕落などというものはありません。アークエンジェルとしての人は私たちの内側にあります；現在のパーソナリティーはアークエンジェルではありません；それは私たちの内側にあるアークエンジェルによって活性化されたものです。そして私たちは徐々に現在のパーソナリティーが内側からアークエンジェルを現すようにさせていくのです。

　現在のパーソナリティーはそのアイコンであり、似姿ではありません。そして私たちは似姿を現すように努力すべきです。現在のところ、それはアイコンにすぎず、似姿は私たちの内側にあります。そして似姿は現れの境界の中には入ったことは決してありません。

Q：現在のパーソナリティーには2つの三角形があります。頭上に小さな三角形、そして私たちのまわりに大きな三角形が。そして私たちは大きな三角形のために小さな三角形についてワークをします。しかし私はそれがまったく理解できません。

K：前に言いましたが、大きな三角形はパーソナリティーが自己実現した時に現すべきものであり、それは大きなまま留まります。しかし転生のサイクルにいる間、そのパーソナリティーは六芒星のシンボルを持ち、それは現在のパーソナリティーの大きなサイクルの可能性が提供する、何であれLifeからのものを表現するステートに到達した自己実現したパーソナリティーを意味する三角形によって形成されるものです。そしてその三角形はロゴスの降下を現し、2つの三角形が合わさって六芒星を形成し、それはキリスト意識のシンボルです。そしてそのシンボルは二元性の諸世界にいる間、多くの困難に向き合うことができるよう、自己実現したパーソナリティーが使用します。

　それは乗り物であり、Lifeに奉仕するためにLifeによって与えられる、名誉と権威でもある乗り物です。そのパーソナリティーはアガピへの奉仕者になるのです。あなたは主の名前として働くのです；それゆえにレッスンにおいて、誰かが霊的なヒーリングを行う時、その人は自分が行っていると主張することはできない、と述べたのです。それを行っているのはロゴスであり、内側のスパークがその仕事、アガピの行為を行っているのです。

Page6

 自己実現に到達する前の人々が使う乗り物は五芒星です。もし彼等が反対者に向き合う必要がある時は、正しい向きの五芒星を使います。それらは両方とも乗り物であり、いつでも使用することができます；しかし、あなたが常にその中にいるという意味ではありません。

　ポイントはそれらの法則にアプローチできるということです。ですから、あなたが五芒星のなかにいて、それがあなたのヒポスタシスである、などと言うことは忘れなさい。それは全ての人間のヒポスタシスです。あなたがこれを築くのは、自分自身をマスターし、現在のパーソナリティーをマスターするために努力しているからであり、それは全ての人間がやっているわけではありません。

　そしてあなたの乗り物は五芒星だと言う時、五芒星は探究者の乗り物であり、人間の無知に“向き合う”ことを心から望む人々のためのものです。なぜなら、あなた方は自分をポジティブなものへの奉仕者とみなすべきだからです。ですから、自己実現した人間でさえ特定のフォームを得るなどとは期待しないでください；それらのシンボルは可能性を意味します。Lifeの本質からどれだけ多くを彼等が現すか；Lifeはそれらのシンボルを必要とはしません。法則はLifeの結果であり、その反対ではありません。しかし、もし自己実現した人が二元性の諸世界のなかで働くなら、それを使用すべきです。

Q：大きなエゴと小さなエゴについての質問があります。もし私の理解が正しければ、最初のサイクルでは大きなエゴと小さなエゴは一緒になっていて、小さなエゴには罪悪感がありません。2番目のサイクルではそれらは分離し、大きな方のエゴが努力をし、小さなエゴには良心というものがありません。３番目のサイクルに入って初めて小さなエゴが大きなエゴの方に移動します。しかし、2番目のサイクルでも良心的な意識をもたないということがありますか？

K：転生のサイクルには人間の経験の様々なレベルがあると言いました。それはパーソナリティーが一般に許されていることと許されていないことに合わせて行動しようとするからです。つまりパーソナリティーは役者なのです。そして角に追い詰められた時のみ自分の真実を示すのです（自分の真実とはその人の気づきの真のレベル）。つまり、その人が自分にとって大事なものを失うかもしれないような時に初めて、その人の真の気づきのレベルが出るのです。

　特定のサイクルのなかでは人間の気づきのたくさんのレベルがあります。なぜなら、特定のサイクルにいる全ての人間が同じ年齢だというわけではないからです…つまり転生のレベル、経験のレベルが同じではないということです。2番目のサイクルに初めて入ってきた人は罪悪感を現すことがありません。

　そしてこの地球上では、まだ転生が2回目の人間もいるのです。しかし、勿論、彼等にとっての2回目の転生は、かつての昔の2回目の転生と比べると同じではありません。なぜならば、誰かが誕生した時、自動的に現在この地球上に存在するエレメンタルによって影響を受けるからです。ですから、その時の基準が違うということは大きな違いを与えます。

EREVNA/LPYR 57 KE7 S4/31106